



2023年11月10日

各位

会社名 株式会社 ヤギ
代表者名 代表取締役社長 執行役員 八木 隆夫
(コード：7460 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 山岡 一郎
管理本部長
(TEL 06-6266-7302)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想及び配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 通期連結業績予想の修正について

1. 2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 87,000	百万円 2,200	百万円 2,400	百万円 1,500	円 銭 180円 83銭
今回公表予想 (B)	80,000	2,770	3,000	1,960	235円 44銭
増減額 (B-A)	▲7,000	570	600	460	
増減率 (%)	▲8.0%	25.9%	25.0%	30.7%	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	86,422	1,943	1,952	1,013	121円 84銭

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス規制緩和による個人消費やインバウンド需要の回復の兆しが見られた一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の上昇や原材料価格の高騰、世界的な金融引締めによる円安の進行、及び人件費の高騰などの様々な要因が加わり先行き不透明な環境が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、2026年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Heritage to the future」に基づき、持続的成長の基盤づくりに注力し、コストアップ要因の改善などのコスト構造改革や価格転嫁の着実な進捗に努めております。

その結果、アパレル事業では、経費の圧縮、販売価格や商圏の洗い直し、不採算事業の見直し等を行うことで一定の効果を得ることができました。

また、ブランド・リテール事業では、収益性の高い秋冬物の端境期ではありますが、春夏アイテムの商品開発に注力し取り扱いを増やすことで収益性の改善を図ることができました。

今後の市場環境は、季候の不安定さも含め引き続き不透明で、外部環境の変化による価格転嫁の困難さや対応遅れが予想されるものの、アパレル事業、ブランド・リテール事業を中心として堅調な業績が見込まれることから、2024年3月期の通期連結業績予想を修正するものであります。

II. 配当予想の修正について

1. 2024年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2023年5月12日公表)		48円00銭	48円00銭
今回公表予想		58円00銭	58円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2023年3月期)	0円00銭	48円00銭	48円00銭

2. 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していくことを基本的な考えとしております。

この基本方針と前記I.の通期連結業績予想値の上方修正及び当期末の財政状態等を考慮のうえ、2024年3月期期末配当予想につきましては、2023年5月12日公表の予想値（1株当たり48円00銭）を1株当たり58円00銭に上方修正いたします。

※上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上